

別表 2

「環境システムデザイン工学」教育プログラムの達成度判定方法

(2010 年度本科第四学年進級者以降)

達成度判定項目		達成度の評価方法			
		単位取得を要する科目あるいは時間数		その他の条件	
		科目名(注 1)	科目等選択条件		
学士学位取得				学位授与機構により学士の認定を受けること	
取得単位数		124 単位以上		-	
コース修了				コースの教育課程を修了すること	
学習 保証 時間	人文、社会科学	参考付表参照	250 時間以上	-	
	数学、自然科学、 情報技術等	参考付表参照	250 時間以上	-	
	専門分野	参考付表参照	900 時間以上	-	
	合計	1800 時間以上		-	
学習 ・ 教育 目標	(A) 倫理	(A-1)社会倫理 多様性の理解 グローバルな視点	英語 A、ドイツ語、法学 社会倫理学特論	別表1 参照	-
		(A-2)技術者倫理 社会問題の科学的理解 技術者の社会的責任	技術者倫理(建築学科 は建築技術者倫理) 社会倫理学特論、特別 実習、特別研究	別表1 参照	-
	(B) デザイン能力	(B-1)計画 調査・検索能力 企画・創案能力 問題抽出・検討能力 設計・計画能力	別表1 参照 特別研究、創造工学実習 創造工学実習、特別研究 電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験 (専攻科1年前期)、特別実習、創造工学実習、特別研究 電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験 (専攻科1年前期)、創造工学実習、特別研究		学協会等で口頭発表 できる能力を有すること
		(B-2)実行 知識・技術取得能力 協調・管理統率能力 実践能力 継続的改善能力 報告書作成・プレゼンテ ーション能力 評価能力	別表1 参照 電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験 (専攻科1年前期)、創造工学実習、特別研究 電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験 (専攻科1年前期)、創造工学実習、特別実習 電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験 (専攻科1年前期)、特別実習、創造工学実習、特別研究 電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験 (専攻科1年前期)、創造工学実習、特別研究 電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験 (専攻科1年前期)、特別実習、創造工学実習、特別研究 電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験 (専攻科1年前期)、特別実習、創造工学実習、特別研究		
	(C) コミュニケーション能力	(C-1)日本語 的確な日本語で表 現できる 日本語で検討・議論 ができる	別表1 参照 総合国語、特別研究 総合国語、特別研究	別表1 参照	
		(C-2)外国語 英語・ドイツ語による 基礎的な表現ができる 英語で基礎的な検 討・議論ができる 英語の基礎的な聴き 取り、読解ができる	別表1 参照 英語総合 A1と2、ドイツ 語、英語総合 B、特別研究 英語総合 B 英語総合 A1と2、英語 総合 B	別表1 参照	TOEIC425 点以上の 能力を有することを英 語総合 B の単位認定 の条件とする

(D) 専門 知識 ・ 能力	(D-1)理学 数学 自然科学	別表1、参考付表(D-1) 数学科目群参照	(D-1) 科目群において、 別々の系において合計4科 目以上の単位取得	
		別表1、参考付表(D-1) 自然科学科目群参照	(D-1) 科目のうち3科目以 上の単位取得	
	(D-2)基礎工学	別表1、参考付表(D-2)科 目群参照	(D-2)科目各系1科目以上、 合計6科目以上の単位取得	
	(D-3)専門共通分野	別表1、参考付表(D-3)科 目群参照	(D-3)科目群の別々の系か ら、合計4科目以上の単位取 得	複数の系に同じ科目 を重複計上できない
	(D-4)専門分野	別表1、参考付表(D-4)科 目群参照	(D-4)科目群において4科目 以上の単位取得	
(E) 情報 技術	(D-5)異分野 異なった技術分野を理 解できる 複数の分野にまたがっ た計画を立案しこれを遂 行できる 人間と環境を意識した 技術的なアイデアを提 案できる	別表1参照 電子システム工学実験 (専攻科1年後期)、建設 工学実験(専攻科1年前 期) 電子システム工学実験 (専攻科1年前期)、建設 工学実験(専攻科1年前 期)、創造工学実習 創造工学実習	左記の指定された科目の 単位取得 別表1参照 別表1参照	
	情報機器を使いこな すことができる 情報機器で企画・構 築ができる 専門分野で必要とさ れるプログラミングがで きる 表現化して説明でき る	別表1、参考付表(E)参照	各系1科目合計4科目以上 の単位取得	複数の系に同じ科目 が重複してもかまわな いが、合計科目は 別々であること

注1)「本教育プログラム達成度水準」に達していない科目については、その科目に関する能力が「本教育プログラム達成度水準」以上に達したことを証明する必要がある。その手続きは別に定める。
参考付表とD - Eの科目群は本校ホームページのシラバスに記載。